

9月のコラム 一瞬も一生も美しく・・・働く

先日、ある会社の会議の場で、一生懸命に自分の想いを伝えている社員さんの姿を見てはっとしました。その姿がとても美しく感じられたのです。学生時代、隣の席でノートを取る同級生の横顔をふと見たとき、同じように感じたことを思い出しました。あの時、「一心に何かに打ち込んでいる瞬間、人は美しいのだ」と、初めて気づきました。外見の美しさではなく、内側からにじみ出る“姿勢”、何かに夢中になっているときの“心の輝き”が、美しさを生み出すのだと思います。

人が夢中になっている瞬間には、言葉にできないほどの力強さと輝きがあります。それは、学生時代に部活動に打ち込んでいた姿かもしれないし、職場でプロジェクトに没頭していた時間かもしれません。仕事に夢中になれること。それは、社員が日々の業務に喜びを感じ、最大限に自身の能力が発揮できている状態。そして、企業にとってもかけがえのない財産です。

転職に抵抗感がなくなり、若者の早期退職に頭を悩ませる会社が増えています。自分のキャリア形成の不安や自分の成長につながる経験の機会がないことは、主な転職の理由のひとつです。その時々で、楽しさと同時に人生を通して輝き続けることができる制度や職場環境を整えていく必要があります。

たとえば、自分の成長を実感できるフィードバックの仕組みや、新しいことに安心して挑戦できる職場風土、成果がきちんと評価される制度。その他にも、「やってみたい」を拾い上げる仕組みとして、提案制度や社内公募など、社員の声を形にする場をつくること。

“邪魔されない時間”をつくる工夫として、集中タイムの導入や通知オフのルールなど、社員が深く考えたり、作業に没頭できる時間帯を守ること。常に即レスや即決を求めるのではなく、じっくり考える余裕を認めることは、夢中になるための土壌づくりになります。様々なキャリアの選択を応援することは「自分らしく働きたい」という思いの実現につながるでしょう。「こうあるべき」ではなく、「その人らしさを活かすにはどうすればいいか」を考えることが、働く人の夢中を支える土壌になるのだと思います。

「一瞬も一生も美しく」その言葉のように、社員の
“今”と“これから”の両方に寄り添える職場づくりを、
丁寧に支えていきたいと思います。

2025年9月 水田かほる

